

## ■ 作品の趣旨

「ガンバレ」という言葉の意味を問う

2011年6月、自分がボランティアで訪れた被災地では「ガンバレ」という言葉は禁句であった。うつ病の人にとっても「ガンバレ」という言葉は使い方を誤ると”非難”になってしまう場合がある、が、自分自身どうしようも無く落ち込んだ時に「ガンバレ」という言葉が励みになった経験がある。発する側、受け止める側 双方に「ガンバレ」という言葉の意味を伝えたい。

ガンバレは「我を張れ」の音変化 (“頑張る”はアテ字 頑固になれ、結果を出せ ではない) 自分を信じて！私はあなたを信じているよ！ というエール

特に子供たちに向けて：メッセージを込めながら子供にもわかり易いエンタメとして制作

- ・サッカーを核に被災地応援をしている人の話を聞いた、映画のチカラを伝えたい
- ・2013年現在でも 復興が進んでいない地がたくさんある



## ☆ 被災地の子供たちに勇気と笑顔を届けたい。

- > 既存の映画は権利問題などで自由に上映、配布が出来ない > それなら 自分達で作る！
- > 被災地で絵本の配布、ヒーローとのふれ合い

絵本の製作



フジテレビ「ジェネレーションギャップ」で  
取り上げられたご当地ヒーローの  
「テウチオン」が「ひけた鯰モード」として  
「アヒージョ！」に出演